

2019年度 シラバス

教科	国語	科目	国語総合(現代文分野)	学年	1
				コース等	T
	使用教科書		『高等学校 国語総合』数研出版	履修単位数	2
学習目標	1 近代以降のさまざまな文章を読み、読書に親しむ態度を身につけ、言語文化への関心を高める。 2 プレゼンテーションを通して、読解力・表現力・知的好奇心を伸長させる。 3 複数の文章やデータを分析し、それについて他者と意見を交わしてコミュニケーション能力の向上を図る。			評価の観点	定期試験を中心とするが、課題の提出や授業時のグループ活動での関わり方、プレゼン発表に向けての意欲や完成度など、自主性や協働性なども含め、総合的に評価する。
授業計画					
月	単元・教材	学習内容			
4 5	①「わたしであり、あなたでなくちゃ」 「何のためでもない場所から」(随想) ②「羅生門」(小説)	①・生徒主語・文章を通して、「自我」とは何かを考え、社会や集団における「自己」の在り方を理解する。 ・「自己」について話し合い、他者と価値観を共有する。 ・下人と老婆の心情を追い、「善悪」の価値観について他者と意見を交わしながら、追究する。 ②・原作との比較から作者の巧みな心情・情景の描写を味わう。			
《第1回定期試験》					
6 7 9	③「『差』という情報」(随想) ④読書プレゼンテーションⅠ ⑤「『攻撃』と『共存』」(評論) 「暴力はどこからきたか」	③・筆者がいう「『差』という情報」とはどのようなものかを理解し、「差」の持つ意味について話し合っそれぞれの見解を深める。 ④・本を読み、要点をまとめる力、表現する力を身につける。 ・他者の発表から新たな知識や価値観を得る。 ⑤・学問的、歴史的な視点から現代社会のありようを考える。 ・攻撃が本来共存の手段であることを理解し、現代における 我々人間の「攻撃」について考えを改める機会とする。			
《第2回定期試験》					
9 10 11	⑥「『わらしべ長者』の経済学」 「高校生からのゲーム理論」(評論) ⑦「コインは円形か」(評論)	⑥・一般論との対比を効果的に用いて主張する文章展開を学ぶ。 ・文章から経済学的思考力を身につけ、現代における経済・経営活動戦略などに考えを巡らせてみる。 ⑦・私たちの認識が一面的になりがちであることを実感させる。 ・抽象的存在に対しての精神硬化現象を理解させる。 ・「認識」が「言語表現」に反映されていることを意識させ、「レトリック感覚」の必要性を理解させる。			
《第3回定期試験》					
12 1 2	⑧読書プレゼンテーションⅡ ⑨「時間と自由の関係について」 「ゾウの時間ネズミの時間」(評論)	⑧・本を読み、要点をまとめる力、表現する力を身につける。 ・本を読んで抱いた疑問についてさらに考察・調査し、より深い内容に仕上げる。 ・他者の発表から新たな知識や価値観を得る。 ⑨・「時間」や「自由」といった対比されている語と、その違いの背景にまで考察を巡らせ理解を深める。 ・「主観的時間」「客観的時間」などの回顧の中で他者との関わりを見つめさせる。			
《第4回定期試験》					
3	読解力養成応用問題	⑩・これまで読んできた教科書の抽象概念が読解の助けとしながら、模試・入試レベルの文章を読むことで、より高い読解力を養成する。			
副教材	『常用漢字クリア』尚文出版				

2019年度 シラバス

教科	国語	科目	国語総合(古典分野)	学年	1
				コース	T
使用教科書		『高等学校 国語総合』数研出版		履修単位数	3
学習目標	古典作品を理解する能力を育成し、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、日本文化に対する関心を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育む。			評価の観点	定期試験を軸に、小テスト、提出物の成果、授業への意欲や関心、授業態度などを総合的に評価する。
授 業 計 画					
月	単元・教材	学 習 内 容			
4	『宇治拾遺物語』 「児のそら寝」	<ul style="list-style-type: none"> ・古文の特徴(古文と現代文の違い)を把握する。 歴史的仮名遣い、古語、品詞の種類、活用と活用形 ・用言の活用を理解する。 動詞、形容詞、形容動詞の活用 ・読解のための基本事項をおさえることで、文章内容をつかむ方法を学ぶ。 ・古典を読む楽しさを感じる。 			
5	『竹取物語』 「なよ竹のかぐや姫」				
『第1回定期試験』					
6	『徒然草』 「つれづれなるままに」	<ul style="list-style-type: none"> ・過去・完了・推量の助動詞について理解する。 ・内容理解とともに古文のリズムに親しみ暗唱できるようにする。 			
7	「ある人、弓射ることを習ふに」				
9	『漢文入門一』	<ul style="list-style-type: none"> ・返り点と送りがないに従って漢文を読み、訓点を施すことができる。 ・書き下し文のきまりを学ぶ。 ・再読文字や助字・置き字の働き、基本的な漢文の構造について理解する。 			
『第2回定期試験』					
9	『伊勢物語』 「芥川」	<ul style="list-style-type: none"> ・「歌物語」の特徴を理解する。 ・この作品が持つ「みやび」の世界に対する理解を深める。 ・和歌の修辞法について理解する。 ・主な助動詞や助詞について学ぶ。 			
10	「東下り」				
11	『故事』 「矛盾」	<ul style="list-style-type: none"> ・否定・使役・疑問の句法について理解し、故事成語の成り立ちやおもしろさを知る。 			
『第3回定期試験』					
12	『土佐日記』 「門出」「帰京」	<ul style="list-style-type: none"> ・女性による仮名書きの文学形態をとり、後の日記文学に多大な影響を及ぼした事を理解する。 ・作者の見方・感じ方をとらえながら、亡児への追慕の感情を鑑賞する。 ・「軍記物語」の特徴を理解する。 ・現代と比較し、中世の「無常観」、武士の生き方について理解を深める。 ・敬語法、音便について理解する。 ・春秋戦国の時代背景を学習し漢文学習に必要な知識を養い、比較・選択・抑揚の句法を学ぶ。 ・絶句と律詩のきまりを理解し、作者の深い感情を味わい、詩の響きを味わう。 			
1	『平家物語』 「祇園精舎」				
2	『史伝』「鶏口牛後」 『唐詩』「絶句」「律詩」	<ul style="list-style-type: none"> ・和歌の修辞法を学び、様々な歌のリズムを体感する。 ・時代による歌風の変化を知り、それぞれの歌の主題を考える。 			
『第4回定期試験』					
3	『和歌』「万葉集」「古今和歌集」 「新古今和歌集」				
副教材	『みるみる覚える古文単語300＋敬語30』いっぴいな書店 『完全マスター古典文法』第一学習社 『基本セミナー漢文入門』 浜島書店				